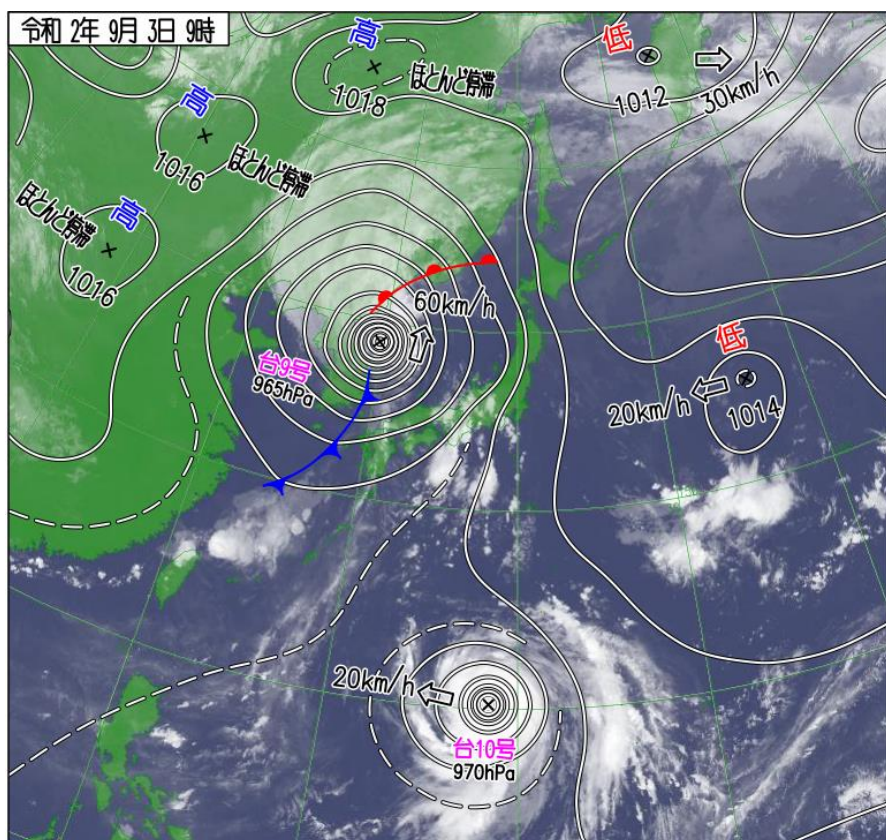


令和2年台風第10号に関する 説明資料

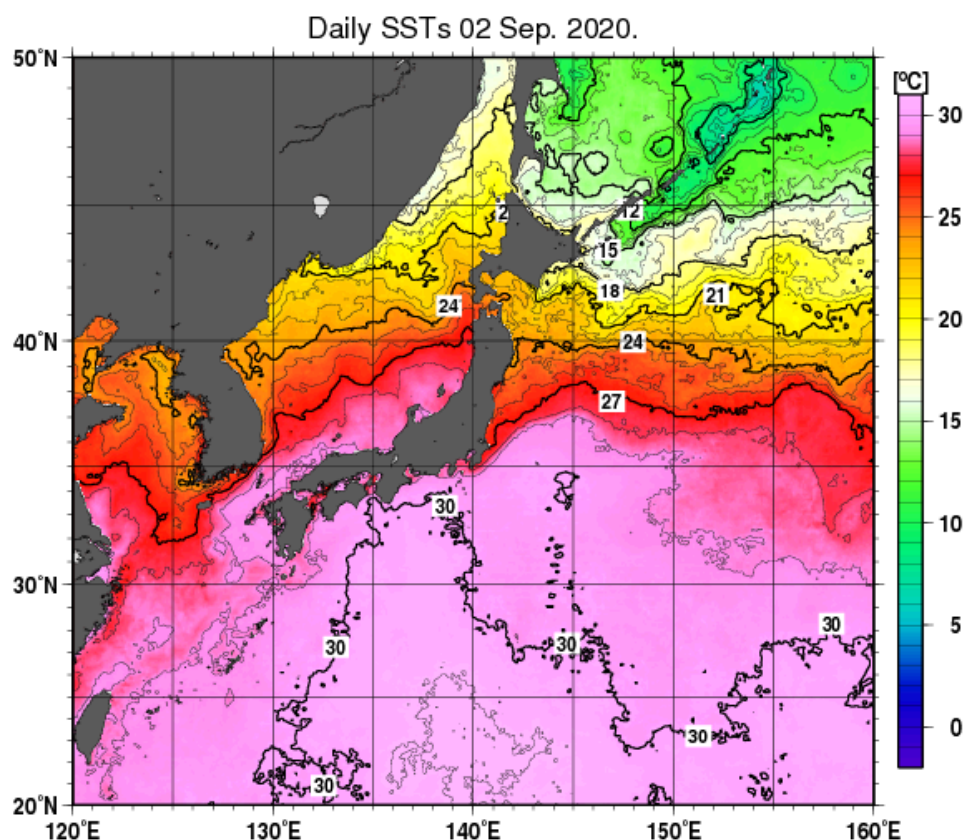
令和2年9月3日(木)
福岡管区気象台 気象防災部予報課
予報官 草場 渡

台風第10号は今後、特別警報級に発達し、奄美地方から九州に接近もしくは上陸するおそれがあります！

- 台風の予報にはまだ幅がありますが、九州では6日(日)から7日(月)にかけて、広い範囲で記録的な大雨・暴風・高潮・高波になるおそれがあります。
- 台風の進路によって、台風を要因とする特別警報(暴風・高潮・波浪)の可能性が
あります。

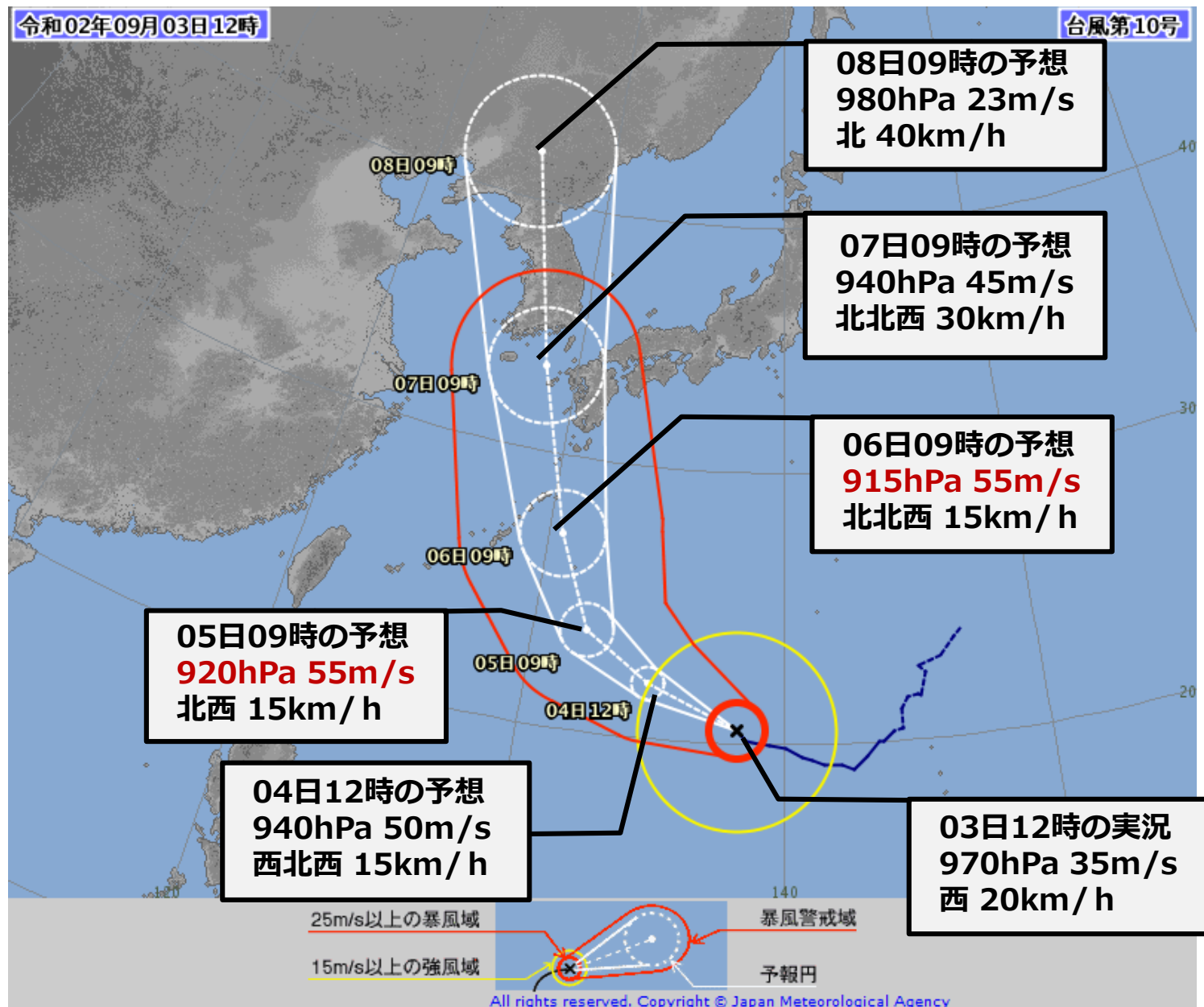


9月3日9時 衛星画像と天気図



9月2日現在海面水温 図の領域: 日本近海

台風第10号の進路予報(03日12時現在)



台風の進路によって、これまで経験したことのない大雨・暴風・高潮・高波となる可能性があり、最大級の警戒が必要です。

- 広い範囲で、近年、九州に接近・上陸した台風を上回る記録的な暴風・高潮・高波の可能性があります。
- 広い範囲で大雨となり、大きな河川でも増水や氾濫の発生する可能性や、普段災害の発生しにくい場所でも土砂災害の発生する可能性があります。令和2年7月豪雨の被災地でも再び大雨となるおそれがあります。
- 週末を迎える前に台風への備えを終わらせるようお願いします。
- 今後、気象台の台風進路予報・気象情報等に留意し、自分の命、大切な人の命を守るため、早め早めの対策をお願いいたします。

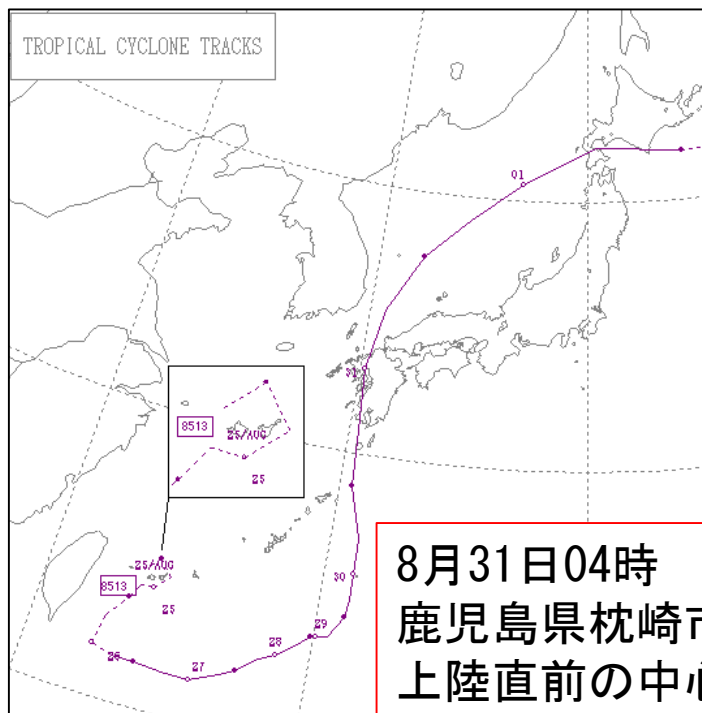
		5日	6日	7日	8日
		0-24時	0-24時	0-24時	0-24時
山口県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
福岡県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
佐賀県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
長崎県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
大分県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
熊本県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
宮崎県	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
鹿児島県 (奄美地方を除く)	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				
奄美地方	大雨				
	暴風				
	波浪				
	高潮				

警報級の可能性がある

警報級の可能性がある

参考台風

昭和60年（1985年）台風第13号

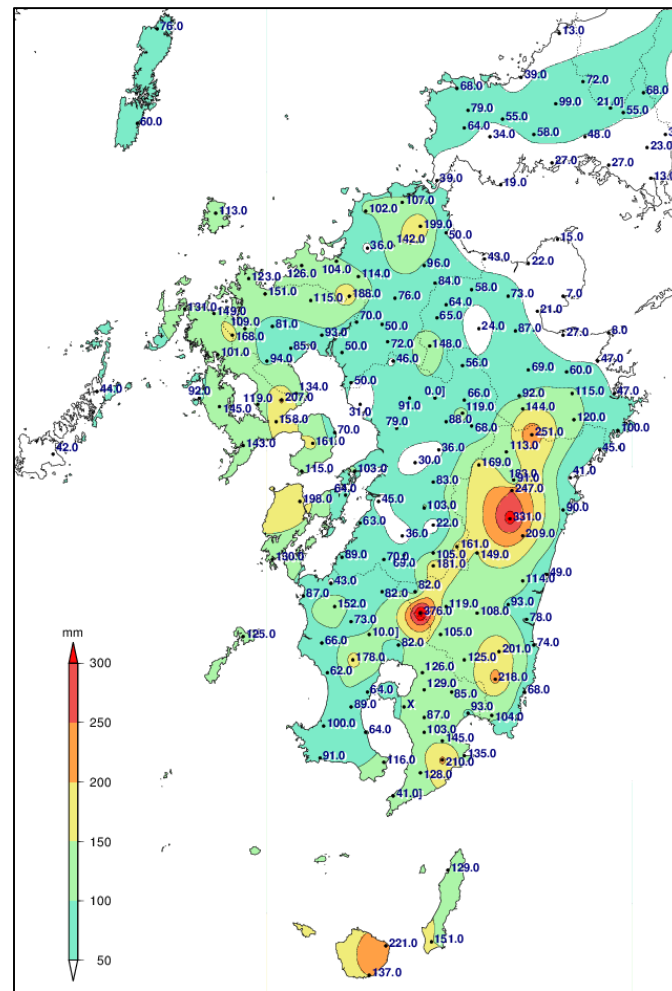


最大瞬間風速：枕崎56.4m/s、鹿児島55.6m/s
鹿児島、熊本、長崎、佐賀、福岡の各県を暴風域に巻き込みながら九州西岸を北上し、多数の海難が発生。

九州各県で死者・行方不明者30名、負傷者約200名、住家等の被害多数

潮位偏差：鹿児島+98cm、大浦+84cm

降水量分布 8月29日～9月2日

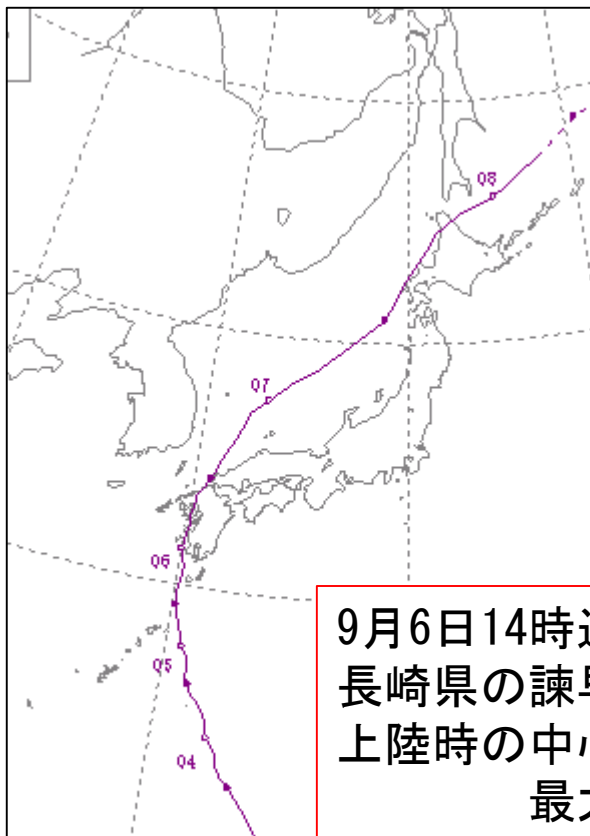


えびの376mm

神門331mm

参考台風

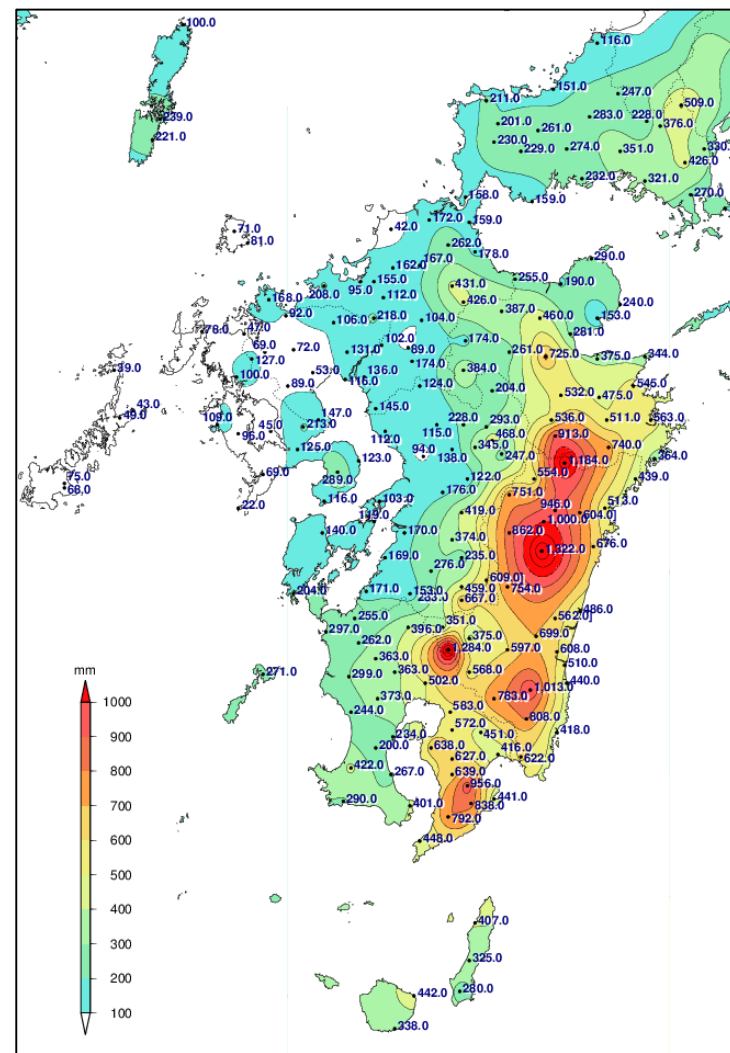
平成17年（2005年）台風第14号



9月6日14時過ぎ
長崎県の諫早市付近に上陸
上陸時の中心気圧960hPa
最大風速35m/s

台風はゆっくりした速度で接近、九州東側の山沿いを中心に暖かく湿った空気が長時間流れ込み、宮崎県で1000mmを超え、大分、鹿児島県でも800mmを超えた。**九州・山口で死者23名**
潮位偏差は種子島+180cmなどと高くなった。

降水量分布 9月3日~9月6日



神門1322mm

えびの1307mm

お知らせ

■本日、台風に関する気象情報を発表しています。今後も随時発表しますので、最新の情報をご利用ください。

■9月4日、5日に記者会見を予定しています。(時間未定)

最新の情報をご利用ください

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		〇〇日								〇〇日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6			
風速	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	3	10	15	20	25	30	35	40	45	以後も注意報級	
	海上	4	12	18	24	30	36	42	48	54			

暴風警報

陸上では昼過ぎから
風速20メートル

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

➤ 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

➤ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別		4日								5日			
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6			
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0											
	(浸水害)										浸水注意		
	(土砂災害)												
暴風	風向風速 (矢印・ メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12		
	海上	15	18	25	40	40	23	20	15	15			
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	2.5	1.5	1.5			
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5					
雷											電撃		

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

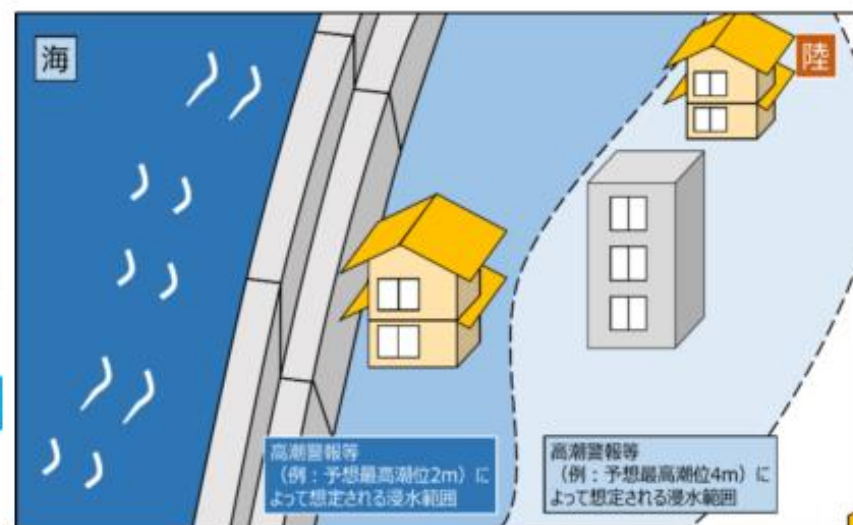
※高潮や高潮と重なり合った
高波による浸水に警戒

予想される波の高さ

予想潮位(高潮の高さ)

ピークは4日16時頃

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による 災害の事例

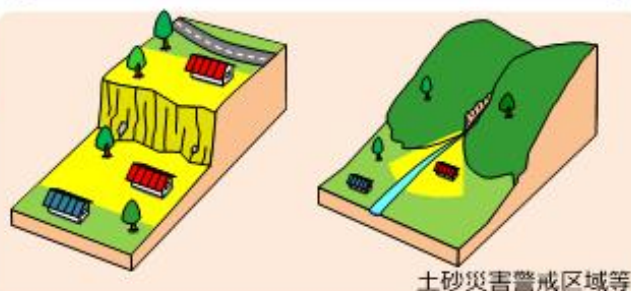


大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

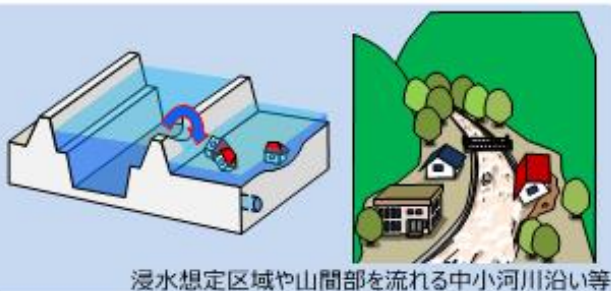
土砂災害



浸水害



洪水災害



危険度分布

2 時間先までの予測



1 時間先までの予測



3 時間先までの予測



災害の例

